

目標達成計画

作成日：平成 22年 12月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	「一人ひとりの人格を尊重する」、「誇りやプライバシーを損ねない」と言うことは、聴いたり勉強したりし分かっている日常の介護の中で実践できていない現状があった。	誇りやプライバシーを損ねるような言葉掛けをしないことの徹底。職員が利用者に向けて発している言葉の内容や語調が、利用者の誇りをきずつけたり、プライバシーをそこねるものになっていないか、日常的な確認と改善に向け事業所で取り組む。	尊重とプライバシーの勉強会をおこない、自分たちの苑での状況を話し合っていく。毎月の職員会議で現状の確認をおこなっていく。	10ヶ月
2	5	身体拘束のマニュアルが、身体拘束を行なった時のマニュアルであった。身体拘束を行なわないためのマニュアルが必要である。	職員一人ひとりが身体拘束について理解し、行なわない努力をする。	グループホームの基準における禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解できるマニュアルを作成する。身体拘束の研修を行い日々の自分たちが行なっているケアを考える。	5ヶ月
3	13	火災想定避難訓練は行なっていたが、地震災害を想定した訓練は行なわれていなかった。	地震、水害等、いろいろな想定での避難訓練をかさねる。	2ヶ月に1度、地震、水害等、いろいろな想定での話し合い、訓練をおこなう。	8ヶ月
4	6	家族会などで意見を出していただいたり、意見箱を設置していたが思うように意見が出なかった、外部評価でのアンケートで意見が多く寄せられたことから家族等より意見を聞く工夫が不足していた。	家族等、意見や要望、不満を言い出しにくいと言う事を理解し、職員や事業所側から意見等を聞く努力をしていく。	ご家族に、年2回、無記名のアンケートをいただく。アンケートに寄せられた意見、苦情について検討、速やかに対応し、結果を家族等に報告する。	10ヶ月
5	20	開放された入り口から、未使用のオムツの袋が積み重なっているのが見える居室があった。	プライバシーを大切にしながら、居心地よく、安心して過せる環境作りを行なう。	職員の勉強会を開き、「プライバシー」とは、「居心地良く安心して過せる環境作り」とはを考え、本人の意向を確認しながら、職員がその人らしく居心地良く落ち着いた居室づくりに取り組む。	5ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。